

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 「対話型パーソナライゼーション AI によるコンテンツ制作の拡張」

2. 個人研究者名

シモセラ エドガー（早稲田大学理工学術院基幹理工学部 講師）

3. 事後評価結果

コンテンツ制作の生産性を AI で高めることを目的として、対話的なラフスケッチのペン入れ技術、照明変換技術、映像リマスター技術などの研究を行った。日本が強い分野であるコンテンツ制作において、高いコストと低い生産性という問題点に独自に着目し、効率性を高める実用的な提案を行うことを目的とした。

上記の目的を最先端の深層学習を駆使して高いレベルで、わかりやすい形で実現している。また、論文投稿を積極的に行い、学術的・国際的に顕著な成果を挙げていると認められる。

今後は、本研究期間で開発した要素技術を組み合わせた、コンテンツ制作を支援するためのパイプラインの構築を期待する。例えば工業製品のデザインなどイラスト以外の応用先を探索する、アマチュア向け・プロ向けなどユーザーを絞った生産性向上を追求する等、より実社会へ向けた研究の展開を進めて欲しい。